

1 委員長挨拶

◆はじめに

初めまして、第 50 回白門祭実行委員会委員長の杉江勇樹です。この『参加者必携本』には、白門祭で企画を行うにあたり必要となる手続きや白門祭における注意事項が記載されています。紛失されないようにお気を付けください。

当冊子をご覧の皆様は、主に企画を実施する団体の方々だと思われるので、企画を行う際に事前に理解をしていただきたい白門祭の理念や白門祭に関わる事項をこれから紹介していきます。皆様の白門祭への関心がより高まりましたら幸いです。

◆白門祭の理念

白門祭とは、前夜祭と本祭 4 日間の計 5 日間、総来場者数約 5 万人を誇る、関東最大規模の学園祭です。学園祭とは学生自らが作り上げる行事ですので、白門祭は「中央大学生の自主性」という考えを基礎においた以下の 2 つの理念のもとに開催されています。

①自治・文化活動発露の場

かつて中央大学には、学生の表現活動の自由が大きく制約されていた時代がありました。このような背景から、白門祭は学生が日頃の活動の成果を思いのままに表現できる「文化活動発露の場」として存在しています。表現する内容に関しては、手法・範囲ともに学生の自由な発想に基づく多種多様な企画を推奨しています。

しかし“自由”には“責任”という言葉が常に伴います。自由は責任を果たすことのできる範囲で認められるべきであるため、当委員会は学生により表現される文化活動が「自治」の範囲内であることを前提条件としています。

②地域に根ざした白門祭

我々中央大学生は、日頃より周辺地域の方々から様々な協力を得て大学生活を送っています。そのため、当委員会はお世話になっている地域の皆様に恩返しをする場として白門祭を設け、地域の方々との親密な関係の形成と、地域に対する還元を目標として活動をしています。

◆企画全面保障

上記の理念より、当委員会は「自治」の範囲内であることを前提として、学生の自由な発想に基づく企画を推奨しており、白門祭の根底にある学生の自主性を尊重するため、原則として「企画全面保障」の立場をとっています。

ただし、企画の保障を受けるためには当委員会の規定に従って説明会に参加した後、書類を提出し参加団体総会に出席していただく必要があります。なお、例外的に実施が認められない企画については p. 10「実施に制限がある企画」を参照してください。

◆白門祭の理念に関わる事項

皆様に理解していただきたい白門祭の理念に関わる事項をこの場を借りて紹介します。

①企業協賛

今年度より白門祭において企業協賛企画が実施可能となりました。昨年度までは企業と協賛して企画を行うということは学生の「自治」という側面から大きく制限されていましたが「自治」の範囲の中で企業との関わり合いは不可能ではなく、参加団体の方々からのニーズに応え、さらなる白門祭の発展に寄与することを目的として企業協賛を解禁します。

白門祭実行委員会の定める企業協賛企画とは「自らの企画を実現する上で企業に対して正当な対価を支払い、金銭・物品などの提供を受ける企画」です。例えば、学生がある企業から企画の運営費として金銭の提供を受け、その対価として自らの企画を宣伝するポスターの一部に企業名を掲載するという内容の企画は企業協賛企画にあたります。また企業商品のサンプリングやコンサートを行う際の物品販売も企業協賛企画となります。

しかしながら、これらの企画は「中央大学生の自主性」という考えのもとに実施されなければならない、自主性や自治を欠如させるような協賛形態であってははいけません。そのため企業が主体となる企画の実施、企業の宣伝が目的となる企画の実施、また、企業あるいは学生が不利益を被るような事態を避けるためにも一定の基準を設けています。詳細は企業協賛企画の実施を希望する団体の方に個別で書類をお配りしますので、企画受付時に申請をお願いします。

また昨年度まで行われていた企業協力企画のうち、本定義に当てはまるものは、本年度より企業協賛企画として扱います。より多くの団体が企業協賛を行い、活動の発露の場が一層幅広くなることで、白門祭をさらに盛り上げていただければと思います。

②飲酒

過去の白門祭で発生した飲酒事故を受け、大学より 2015 年度以降の前夜祭および白門祭期間中における学内全面禁酒措置が言い渡されました。我々白門祭実行委員会はこの事態を真摯に受け止め、第 49 回白門祭ではこれまで行われてきた酒類提供企画、大学構内での飲酒行為ならびに酒類、ノンアルコール飲料の持ち込みを全面禁止することと致しました。今年度の第 50 回白門祭も引き続き学内全面禁酒となっています。

元々2000年度の白門祭までは、前夜祭も含めて全面的に飲酒が可能でした。しかし同年に発生した飲酒事故では150名程度が泥酔状態に陥ってしまい、これによって一度は学内全面禁酒措置を受けました。その後、協議を重ねた結果、2002年度から2014年度まで「酒類提供企画」という形で白門祭での企画内容選択の自由を保つことができていました。

学内全面禁酒措置は、表現活動の自由および「中央大学生の自主性」を阻害するものとして本来であれば起きてはならない事態です。しかし過去に発生した飲酒事故により、白門祭での飲酒行為は学生の「自治」の範囲外のものであると判断されるに至ったため、白門祭の理念と照らしてもこの措置は受け入れざるを得ませんでした。

昨年度に引き続き、当委員会は「学内飲酒ゼロ」の達成を目指します。白門祭での飲酒に関する学生の「自治」をかつてのように回復させるためにも、学生自身の責任のもと、飲酒に対して各々が節度ある行動をとることが要求されます。

③前夜祭

現在の中央大学は朝 8 時から夜 23 時までしか開放されておらず、その分学生の自由な表現活動は制約されていると言えます。そこで、当委員会は前夜祭を起点として大学の 24 時間完全開放を目指しています。

以前の前夜祭は、白門祭の準備日として認められるにとどまり、実質的には完全開放されているとは言えませんでした。しかし、2008 年度より前夜祭は準備日並びに企画実施の場として位置づけられました。皆様にはこの大学開放を機として前夜祭ひいては白門祭を盛り上げるような企画を実施し、ぜひ前夜祭を「自治・文化活動発露の場」として利用していただければと思います。

◆終わりに

本年度の開催をもって白門祭は 50 回を数えます。この半世紀という長い年月の間で白門祭は様々な歴史を積み重ねてきました。この歴史を紡いできたのは中央大学生一人一人の活動であり、それはこれからも変わることがないでしょう。ご存じない方もいらっしゃると思いますが、白門祭実行委員会という組織は全中央大学生によって構成されています。白門祭実行委員会の一員として白門祭を作り上げる側にいることを意識していただくとともに、この記念すべき年の白門祭を次の 50 年へとつないでいけるように、中央大学生一人一人の力で作り上げましょう。

当委員会は皆様の企画の成功に向けて、全力でサポートします。この広大で緑にあふれるキャンパスが皆様の熱気であふれることを願ひまして、委員長挨拶とさせていただきます。

中央大学白門祭実行委員会
委員長 杉江 勇樹